

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	神栖市家庭教育支援チーム (呼称:キラrin子育て)
②活動拠点	神栖市保健福祉会館、平泉コミュニティセンター、中央公民館
③活動範囲	神栖市内
④組織体制	15 人 生活倫理相談士 10 人、子育てサポーター4 人、その他 1 人 (メンバー全体の中に、元保育士1人、民生委員 1 人を含む)
⑤活動開始年度	平成21年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 神栖市キラrin子育てセミナー 西脇 順子 (TEL) 080-5560-5298 (E-mail) kirarin_kamisu@yahoo.co.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援 <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<p>月に1回(年間12回、平日が多いが年に2回ほど土日にも開催)、公共施設の 2 部屋を借りて、別室託児付きのセミナーを開催しています。子育てに関するセミナーを最初の30分、参加者同士が話し合うグループトークを30分、グループ内で出た質問をセミナー講師に尋ねる質問タイムが30分、合計1時間30分です。一連のプログラム終了後には、講師と1対1で、別室で相談をすることができる機会も設けられています。</p> <p>子育てセミナーでは、その月毎に異なるテーマを設定し、家庭教育師(日本家庭教育学会)や生涯局講師(一社 倫理研究所)の資格を持つ講師が参加者に話をします。グループトークでは、同じような年齢の子どもを育てている親同士が、思い思いに日ごろの悩みや感じたことを話し合い、気持ちを共有し合います。より深刻な悩み、人には話すことができない内容については、プライバシーが確保された別室で、セミナー講師が直接相談に応じます。</p>

対象は、妊婦さんから中高生を育てる保護者までと幅広いですが、近年の傾向では未就学の子ども、特に0才～3才までの子育てをしているお母さん方の参加が多く、テーマもそれに合う内容を設定することが多いです。



④活動の成果
(活動実績がある
場合)

アンケートによる参加者の声を成果としてご紹介します。

- ・子育てに悩み不安を感じていたが、悩んでいるのは自分だけではないと分かり、前向きな気持ちになれた
- ・楽に家族と向き合えるようになった
- ・10年以上も長く、毎月開催されていて素晴らしい
- ・悩んだらまたここに来ようという安心感がある
- ・「こんな自分も受け入れよう」という講師の言葉に、心が楽になった
- ・一緒に活動したい、お手伝いをしたい(その後活動メンバーとして入会)

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(主催の家庭倫理の会より、予算を組んでいただき活動しています)